職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設	置認可年月	日	校	長名			所在地										
岡山情報ITクリエイ	ター専門	슾	和3年3月9	эн	内田	マップ													
学校		·					(電話)	086-232-7000											
設置者名		設:	立認可年月	日	代表	長者名	Ŧ	101-0065	所在地										
学校法人大原	学園	昭	和54年4月	1日	中本	毎彦	(住所)	東京都千代田区西神	伸田1丁目1番3号										
分野		認定課程名	Z		認定学科	名		03-6261-7717 門士認定年度	高度専門士認定	它在度	職業宝辉』	厚門課程認定年度							
工業		業専門課			情報IT学			1 3(2021)年度	同及寺门工邮及	CT/X		4(2022)年度							
<u> </u>	_	- 	1111		IH TALL J	17	12.1	1 0(2021) + /2			17.14	1(2022)—12							
学科の目的	教育基本流とする。	ま及び学校	教育法に基	づき、情報	処理(主に	システム開発)) 及びビジネ	スに関する教育を施し	、人格の陶冶を行い、	もって有意	義な産業人を	育成することを目的							
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	情報分野で 験・ITパス	で活躍できるポートや日	るシステムコ 本ビジネス	エンジニアヤ 技能検定協	っプログラマ 品会が主催す	一等の育成を 「る漢字検定。	目的とし、作	青報処理知識の習得を	行う。目指す取得可能	な資格につ	いては、基本	情報処理技術者試							
修業年限	昼夜	全課程の	修了に必要 単(な総授業 は数	持数又は総	講	義	演習	実習	実	!験	実技							
2	昼間	※単位時間、	単位いずれ	1,700	単位時間	1,490	単位時間	2,035 単位時間	300 単位時間	0	単位時間	0 単位時間							
年	,	かに記入			単位		単位	単位	単位		単位	単位							
生徒総定員	生徒爭	€員(A)	留学生	数(生徒実員の		留学生割	合(B/A)	中退率											
160 人	82			0	人	0	%	5 %											
	■卒業者 ■対職委	数 (C) 望者数 (D	:		62 58			-											
	■就職者	数(E)	:		58		Ĵ	- -											
	■地元就	職者数(F))		18		人 /	-											
	■就職率 ■就職者		元就職者の	D割合(F/E	100 E)		%	=											
					31		%	<u>-</u> ,											
	■卒業者	こ占める就	職者の割合	(E/C)	94		%												
就職等の状況	■進学者 ■その他	数			0		Ž	-											
	年度任用	、療養 等																	
	(令和	6	年度卒業者	に関する令	和7年5月	1 日時点の情報	艮)												
		職先、業界																	
	(令和6年度																		
			\$務員、各 ⁵	地方公共区	団体職員、	その他各種公	除員 等	F											
	■民間の	=示/エ+総月日ぐ	エルン 生一	≠≕/≖.				無											
第三者による			等から第三 Fについて任																
学校評価		77 burn 11						到	『価結果を掲載した										
		評価団体:				受審年月:			翌年日 辞										
	評価団件: 受審年月: ホームページURL																		
当該学科の								拉											
ホームページ	https://w	ww.o-hara	ı.ac.jp/senı	mon/scho	ol/okayama	_it/course/s	system/	才											
				mon/scho	ol/okayama		system/	才											
ホームページ		対時間による	5算定)	mon/scho	ol/okayama		system/			4 700									
ホームページ			5算定)			a_it/course/s		<i>‡</i>			単位時間								
ホームページ		対時間による	る算定) 女 うち企業等	_{等と連携し} が	こ実験・実習	a_it/course/s g・実技の授業		<i>1</i>		120	単位時間								
ホームページ		対時間による	る算定) 女 うち企業等	_{等と連携し} が		a_it/course/s g・実技の授業		<i>‡</i>		120									
ホームページ		対時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等	≨と連携した ≩と連携した 最業時数	こ実験・実習 に演習の授業	a_it/course/s B・実技の授業 時数	纟時数			120 30	単位時間								
ホームページ		対時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等	≨と連携した ≩と連携した 最業時数	こ実験・実習 に演習の授業	a_it/course/s g・実技の授業	纟時数			120 30 120	単位時間								
ホームページ		対時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等	等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等	と実験・実習 と演習の授業 等と連携した	a_it/course/s B・実技の授業 時数	実習・実技			120 30 120 120	単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL		対時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち必修持	手と連携した 音と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	a_it/course/s ・実技の授業 時数 ・必修の実験・	実習・実技 実習・実技 受業時数			120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	(A:単位	対時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち必修持	手と連携した 音と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	a_it/course/s 引・実技の授業 詳時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技 実習・実技 受業時数			120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL 企業等と連携した況 会変変を実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対時間による	5 算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち企の修朽	手と連携した 音と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	a_it/course/s 引・実技の授業 詳時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技 実習・実技 受業時数			120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	(A:単位 (B:単位	立時間による 総授業時数	5 算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち企の修朽	手と連携した 音と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	a_it/course/s 引・実技の授業 詳時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技 実習・実技 受業時数			120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL 企業等と連携した決 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	な時間による 総授業時数 数による多	5算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち必修持 (うち企ま	春と連携した 春と連携した 最楽時数 うち企業等 うち企業等 き等と連携し	た実験・実習の授業 た演習の授業 等と連携した をと連携した	a_it/course/s 引・実技の授業 詳時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技 授業時数 授業時数)			120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL 企業等と連携した決 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	な時間による 総授業時数 数による多	5算定) 女 うち企業等 うち必修技 (うち企業 章定)	をと連携した をと連携した を実験数 うち企業等 うち企業等と連携し	た実験・実習の授業 た演習の授業 等と連携した をと連携した	a_it/course/s g・実技の授業 性時数 必修の実験・ 必修の演習の -ンシップの授 ・実技の単位	実習・実技 授業時数 授業時数)			120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL 企業等と連携した況 会変変を実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	な時間による 総授業時数 数による多	5算定) 女 うち企業等 うち必修技 (うち企業 章定)	等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等 と連携した 等と連携した 等と連携した	と実験・実習の授業 等と連携した をと連携したインター	a_it/course/s g・実技の授業 性時数 必修の実験・ 必修の演習の -ンシップの授 ・実技の単位	実習・実技 授業時数 授業時数)			120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL 企業等と連携した況 会変変を実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	な時間による 総授業時数 数による多	5.算定) 女 うち企業等 うち必修括 (うち企業 草定)	等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した 単位数	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業 等と連携した をと連携したインター と実験・実習の単位	a_it/course/s a_it	実習・実技 実習・実技 授業時数 受業時数)	の授業時数		120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した況 会変変を実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	な時間による 総授業時数 数による多	5.算定) 女 うち企業等 うち必修括 (うち企業 草定)	等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した な位数 うち企業等	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業 等と連携した をと連携したインター と実験・実習の単位 をと連携した。	a_it/course/s a_it	実習・実技 授業時数 受業時数) 数 実習・実技	の授業時数		120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した況 会変変を実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	な時間による 総授業時数 数による多	5.算定) 女 うち企業等 うち必修括 (うち企業 等定) うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した をと連携した なび数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した。	と実験・実習を実施を表現である。 を連携した をと連携したインター と実験・実習の単位 をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した	a_it/course/s a_it	実習・実技 授業時数) 数 実習・実技 単位数	の授業時数		120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した決 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	な時間による 総授業時数 数による多	5.算定) 女 うち企業等 うち必修括 (うち企業 等定) うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した をと連携した なび数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した。	と実験・実習を実施を表現である。 を連携した をと連携したインター と実験・実習の単位 をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した	a_it/course/s a_it	実習・実技 授業時数) 数 実習・実技 単位数	の授業時数		120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した決 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	な時間による 総授業時数 数による多	5.算定) 女 うち企業等 うち必修括 (うち企業 等定) うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等と連携した をと連携した なび数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した。	と実験・実習を実施を表現である。 を連携した をと連携したインター と実験・実習の単位 をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した	a_it/course/s a_it	実習・実技 授業時数) 数 実習・実技 単位数	の授業時数		120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した決 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	立時間による。 総授業時数 数による多 総単位数	5.算定) 対 うち企業等 うち必修括 (うち企う (うち企業等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うちを企業等 うちを企業等 うちを必修す うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	等と連携した 学と連携した 受業時数 うち企業等 うち企業等 と連携した 等と連携した うち企業等 をでまります。	と実験・実置 た演習の授業 等と連携した をと連携したインター と実験・実当 を をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した とったインター	Lit/course/s 『・実技の授業 は時数 必修の実験・ 必修の演習の 「・実技の単位 な数 必修の実験・ ・必修の演習の では数 必修の実験・ ・必修の演習の ではな のではな ので	実習・実技 授業時数) 数 実習・実技 単位数	の授業時数		120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した決 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	立時間によるを 総授業時数 数による多 総単位数 「専担当	5. 算定) 女 うち企業等等 うち企業等等 (うち企ま す定) うち企業等等 うち企業等 うちを企業等等 うちを企業等等 うちを企業等 うちを企業等 うちを企業等 うちを企業等 うちを企業等 うちを企業を うちを企業を うちを企業を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うち	をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 うち企業等と連携した。 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	a_it/course/s	実習・実技 授業時数) 数 実習・実技 単位数 単位数)	の授業時数	ニームベージUR L	120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した況 会変変を実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	な時間による を	5 算定)	をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 うち企業等と連携した。 をはな数 こうち企業等と連携した。 をはな数 こうち企業等と連携した。 こうち企業等と連携した。 こうち企業等と連携した。 こうち企業等と連携した。	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	it/course/s ・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の実験・ ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの技 ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの単	実習・実技 授業時数) 数 実習・実技 単位数 単位数)	の授業時数	ニームベージUR L	120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した況 会変変を実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	立時間によるを 総授業時数 数による多 総単位数 「専担当	5 算定)	をと連携した。 をと連携した。 をと連携した。 うち企業等と連携した。 をはな数 こうち企業等と連携した。 をはな数 こうち企業等と連携した。 こうち企業等と連携した。 こうち企業等と連携した。 こうち企業等と連携した。	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	a_it/course/s	実習・実技 授業時数) 数 実習・実技 単位数 単位数)	の授業時数	ニームベージUR L	120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した況 会変変を実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位 (B:単位	な時間によるを を受験を な数に な数に な数な な数は な数な な数な な数な な数な な数な な数な	5 算定)	をと連携した。 をと連携した。 を要素時数 ま等ら企業等 ま等を企連携した。 ま等を企連携した。 ま等を企連携した。 ま等を企連携した。 ま等を企連携した。 ま等を企連携した。 ま等を企連携した。 までできる。 までは事に従事に従事に従事に従事に従事に従事に従事に従事に従事になる。 まできる。 までは事に従事に従事に従事になる。 までは事になる。 まではずになる。 まではなる。 まではなるなる。 まではなるなる。 まではなる。 まではなる。 まではなる。 まではなるなる。 まではなるなる。 まではなるなる。 まではなるなる。	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	a_it/course/s	実習・実技 授業時数 数数 実単位数 (専修今	の授業時数	マームページUR L	120 30 120 120 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した実 実をの実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(A:単位 (B:単位	立時間による を持 を持 を持 を を を を を を を を の を と を の の を と を の の の を の の の の の の の の の の の の の	5 算定) 対	等と連携した ・ を と 連携した ・ で ま で と 連携した。 ・ で ま で で で で で で で で で で で で で で で で で	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	a_it/course/s	実習・実技 受業時数) 数数 実習・実技 単位数) (専修学	の授業時数 の単位数 全校設置基準第41条第1項	(デームページUR L) (第1号) (第2号)	120 30 120 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位								
ホームページ URL 企業等と連携した況 を実習等の実施状か に記入)	(A:単位 (B:単位	z時間に 総授業時 を を を を を を を を を を を を を	5 算定)	等と連携した。 を要素時数 ま等と連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 な企業等を企業等とを企業等とを修りた事し、 なんでは、まずいではでは、ますいではではでは、まずいではではでは、ますいではではではでは、まずいではではではではではではではではではではではではではではではではではではで	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	a_it/course/s	実習・実技 授業時数) 対数 実習・実技 を を を を を を を を を を を を を	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第19 学校設置基準第41条第19	(デームページURL) (第1号) (第2号) (第3号)	120 30 120 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL 企業等等の実施状か に記入)	(A:単位 (B:単位	政時間による 教 総理 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 き 本 さ </td <td>5 算定)</td> <td>等と連携した。 を要素時数 ま等と連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 な企業等を企業等とを企業等とを修りた事し、 なんでは、まずいではでは、ますいではではでは、まずいではではでは、ますいではではではでは、まずいではではではではではではではではではではではではではではではではではではで</td> <td>と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、</td> <td>a_it/course/s a_it/course/s a_it/course/s</td> <td>実習・実技 授業時数) 立数 実質位数 (専修等 (専修等等等)</td> <td>の授業時数 の単位数 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項</td> <td>デームページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)</td> <td>120 30 120 0 0 0</td> <td>単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間</td> <td></td>	5 算定)	等と連携した。 を要素時数 ま等と連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 な企業等を企業等とを企業等とを修りた事し、 なんでは、まずいではでは、ますいではではでは、まずいではではでは、ますいではではではでは、まずいではではではではではではではではではではではではではではではではではではで	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	a_it/course/s	実習・実技 授業時数) 立数 実質位数 (専修等 (専修等等等)	の授業時数 の単位数 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項	デームページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	120 30 120 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL 企業等と連携した況 を実習等の実施状か に記入)	(A:単位 (B:単位	立時間による 参数 2数 総単位数 3 6 5 そのののは上 4 6 そのののは上 4 6 そのののは上 4 6 5	5 算定)	等と連携した。 を要素時数 ま等と連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 な企業等を企業等とを企業等とを修りた事し、 なんでは、まずいではでは、ますいではではでは、まずいではではでは、ますいではではではでは、まずいではではではではではではではではではではではではではではではではではではで	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	a_it/course/s	実習・実技 授業時数) 立数 実質位数 (専修等 (専修等等等)	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第19 学校設置基準第41条第19	デームページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	120 30 120 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 人人人人人人人人人人人人人人人人人人								
ホームページ URL 企業等と連携した況 を実習等の実施状か に記入)	(A:単位 (B:単位	政時間による 教 総理 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 き 本 さ </td <td>5 算定)</td> <td>等と連携した。 を要素時数 ま等と連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 な企業等を企業等とを企業等とを修りた事し、 なんでは、まずいではでは、ますいではではでは、まずいではではでは、ますいではではではでは、まずいではではではではではではではではではではではではではではではではではではで</td> <td>と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、</td> <td>a_it/course/s a_it/course/s a_it/course/s</td> <td>実習・実技 授業時数) 立数 実質位数 (専修等 (専修等等等</td> <td>の授業時数 の単位数 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項</td> <td>デームページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)</td> <td>120 30 120 0 0 0</td> <td>単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間</td> <td></td>	5 算定)	等と連携した。 を要素時数 ま等と連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 な企業等を企業等とを企業等とを修りた事し、 なんでは、まずいではでは、ますいではではでは、まずいではではでは、ますいではではではでは、まずいではではではではではではではではではではではではではではではではではではで	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	a_it/course/s	実習・実技 授業時数) 立数 実質位数 (専修等 (専修等等等	の授業時数 の単位数 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項	デームページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	120 30 120 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間								
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か に記入)	(A:単位 (B:単位	立時間による 参数 2数 総単位数 3 6 5 そのののは上 4 6 そのののは上 4 6 そのののは上 4 6 5	5 算定)	等と連携した。 を要素時数 ま等と連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 うちと連携した。 な企業等を企業等とを企業等とを修りた事し、 なんでは、まずいではでは、ますいではではでは、まずいではではでは、ますいではではではでは、まずいではではではではではではではではではではではではではではではではではではで	と実験・実習を実施を実施を表演習の授業を主連携したとまましたインターを実施を実施したとまました。 大きでは、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、	a_it/course/s	実習・実技 授業時数) 立数 実質位数 (専修等 (専修等等等	の授業時数 の単位数 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項	デームページURL (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	120 30 120 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 人人人人人人人人人人人人人人人人人人								
ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か に記入)	(A:単位 (B:単位	 立時間による 教総 による な数 (よる数) (ましまり) (まり) (まり)	5 算定) な うち企業等等 持ち企企業等等 持ち企企業等等 持ち企企業等等 持ち企企業等等 を企企 業等 等 は で で で で で で で で で で で で で で で で で	をと連携した。 すと連携した。 うち企業等と連携した。 うち企業等とは数かのでは、 うち企業をはなからなのでは、 ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	生実験・実理祭・実理祭の実理携別の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	Lit/course/s P・実技の授業 は時数 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・ の方である。 必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。	実習・実技 授業時数) 支置・実技 数 変 (専修等 (専修等 (専修等	の授業時数 の単位数 や校設置基準第41条第1項 や校設置基準第41条第1項 や校設置基準第41条第1項	(デームページURL) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事	120 30 120 0 0 0	単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中位								
ホームページ URL 企業等と連携した況 を実習等の実施状か に記入)	(A:単位 (B:単位	立時間による 数数による数 総単位数 (1) 専加の修上、学・高・体・出来と、立・学・ののの修上、学・高・体・のの修工、学・高・体・のの修工、学・のの修工、学・のの作品、「一、会」、「一、一、一、会」、「一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	5 算定) な うち企業等等 持ち企企業等等 持ち企企業等等 持ち企企業等等 持ち企企業等等 を企企 業等 等 は で で で で で で で で で で で で で で で で で	をと連携したした。 をと連携したした。 をとをときるである。 をおきるでは、 をは、 をは、 をは、 をなるでは、 をなるでは、 をは、 をなるではななななななななななななななななななななななななななななななななななな	生実験・実理象・実理象・実理像したと、 を連携とした・の 準準機とした・の 準準機と たん 実演 連携 した たー 実演 連携 とたん まっぱい まっぱい まっぱい まっぱい まっぱい まっぱい まっぱい まっぱい	Lit/course/s P・実技の授業 は時数 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・ の方である。 必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。	実習・実技 授業時数) 支置・実技 数 変 (専修等 (専修等 (専修等	の授業時数 の単位数 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項 全校設置基準第41条第1項	(デームページURL) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事	120 30 120 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 人人人人人人人人人人人人人人人人人人								
ホームページ URL 企業等を連携した況 (A、Bいずれか に記入)	(A:単位 (B:単位	立時間による 数数による数 総単位数 (1) 専加の修上、学・高・体・出来と、立・学・ののの修上、学・高・体・のの修士、学・本・のの修士、学・大・のの修士、と、立・学・のの修士、と、立・学・ののの修士、は、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	5 算定)	をと連携したした。 をと連携したした。 をとをときるである。 をおきるでは、 をは、 をは、 をは、 をなるでは、 をなるでは、 をは、 をなるではななななななななななななななななななななななななななななななななななな	生実験・実理象・実理象・実理像したと、 を連携とした・の 準準機とした・の 準準機と たん 実演 連携 した たー 実演 連携 とたん まっぱい まっぱい まっぱい まっぱい まっぱい まっぱい まっぱい まっぱい	Lit/course/s P・実技の授業 は時数 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・ の方である。 必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。 と必修の実験・ の方である。	実習・実技 授業時数) 支置・実技 数 変 (専修等 (専修等 (専修等	の授業時数 の単位数 や校設置基準第41条第1項 や校設置基準第41条第1項 や校設置基準第41条第1項	(デームページURL) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事	120 30 120 0 0 0	単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 中位								

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- ①卒業生の主な就職先である一般企業会社と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②学習の中心となるITスキル等は勿論のこと、コミュニケーション技術や業界別の専門知識などの教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践修得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保並びに更なる教育の質向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務課の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議 策定するための機関として位置づける。

また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。

- ②意思決定の課程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園前項の教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員会に教育現場の責任者である校長、教務次長、現場責任者が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を次年度の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年9月22日現在

		1141 T - 7	722口坑江
名 前	所 属	任期	種別
佐藤 豪人	公益社団法人 日本グラフィックデザイン協会 岡山地区 代表幹事	令和7年8月1日~ 令和8年3月31日(1年)	1
岡了	株式会社 トスコ 総務部 副部長	令和7年8月1日~ 令和8年3月31日(1年)	3
内田 康則	大原学園 大原ビジネス公務員専門学校岡山 校 校長	_	_
水上 貴博	大原学園 岡山情報ITクリエイター専門学校 教務部 教務2課 課長補佐		_
西岡 祐将	大原学園 岡山情報ITクリエイター専門学校 教務部 教務2課	_	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、12月)

(開催日時(実績))

令和6年度 第1回 令和6年 8月8日 16:30~17:30 令和6年度 第2回 令和6年12月6日 16:00~17:00 令和7年度 第1回 令和6年 8月5日 16:30~17:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①令和6年度第1回目では就職に関する学生への指導・啓発について助言を頂いた。就職後は知識・技術よりも学ぶ姿勢 や自己管理能力が重要であり、学生には自ら学ぶように誘導し、長所を伸ばしていくことも一つの方針と考える。また、AI ツールを使用したプログラミング等は非推奨となっていることも多く、積極的な使用は重要ではないとのことだった。
- ②令和6年度第2回目では、自ら学ぶ姿勢等が積極的にできるように環境設定から整えた点について報告するとともに、業界で活躍されている方々が参考にしているサイトや著名人を紹介して頂くと共にその活用ポイントを助言頂いた。
- ③令和7年度第1回目では、即戦力養成の学校として現場で必要な知識・情報・サービスをカリキュラムへの反映法について助言を頂いた。結論としては、現場としても例えばDXの実社会への浸透度が低いなど、まだまだ周知段階のため図りかねている状況であるが、AWSが中心になってくるのではないかとのことであった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①文化・教養分野においる実習・演習は、教育社会福祉分野、工業分野等の分野と異なり、企業等との連携の下、学内で 行われる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立てを行う。
- ②関連団体や企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意 識改革を 実現する。
- ③関連団体や企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得に対して実 践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

職業実務Iの授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向上のために 連携している。

- ①実習授業内容構築へのサポート
- ②当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③授業方法に関する教員への指導
- ④学生の学習習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
ITキャリアデザイン Ⅱ	2.【校内】企業等から の講師が一部の授業 のみを担当	システムエンジニアとしての心構え や職業観について学び、就職活動 における適性試験や面接試験の 対策	ひろぎんITソリューションズ株式会 社
卒業制作Ⅲ		システム開発におけるテスト仕様 書の作成及び実装について学ぶ	伊藤忠テクノソリューションズ株式 会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の 知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。

「大原学園 教職員研修規程」の目的に定めるとおり、年度始めに専門教育の知識力については各教育部門、指導力につ いては各校において研修方針・計画を策定し、教職員が専攻分野および指導に関する知識・技能・企画力・判断力等を高 めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意思により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校 内、校外において学園が企画する研修は以下の通り。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特価した講師として招いた研修会の実施
- ③自治体等が実施する指導者向けセミナーへの参加
- (2)研修等の実績
- ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 産業サイバーセキュリティ2024 連携企業等: 中部経済連合会

期間: 2024月9月30日 対象· 情報IT学科担当職員

内容 国内組織を狙った大規模サイバー攻撃から学ぶセキュリティ対策

②指導力の修得・向上のための研修等

教育現場におけるLGBTの考え方 連携企業等: 岡山地方法務局人権擁護課 研修名:

2024年12月18日 対象: 専門課程担当職員 期間:

教育現場(職員のみならず、学生や広報イベントで参加する高校生に対して)でのLGBT(特に性的マイノリ

ティについて)の考え方・対応法について学び、今後の学生応対・広報イベント参加者応対で活かしていく。 内容

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: 中部経済連合会 産業サイバーセキュリティ2025 研修名:

期間: 情報IT学科担当職員 2025月9月30日 対象:

多発する国内組織を狙った大規模サイバー攻撃について、その手法等を学ぶセキュリティ対策 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 学校のドロップアウトを防ぐための応対等 連携企業等: NPO教育カウンセラー協会

期間: 2025年12月22日 対象: 専門課程担当職員

内容 時代背景も相まって多様な学生を応対する中で、入学後のドロップアウトを防ぐための応対や日々の学生

指導・手法について生徒指導法の観点からアプローチを学ぶ。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2)「専修子校にのりる子校計価カイトノイン」の ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
カープランの計画会員	①理念・目的・育成人物像は定められているか。
(1)教育理念·目標	②学校の特色はなにか。
(1) 我自经心 口惊	③学校の将来構想を抱いているか。
	①運営方針は定められているか。
	②事業計画は定められているか。
(2)学校運営	③運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか。
	④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。
	⑤意思決定システムは確立されているか。
	⑥情報システムは確立されているか。
	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人
	材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。
	②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。
	③カリキュラムは体系的に編成されているか。
	④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされている
	か。 ® b : リー*** た 0 切 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5
(3)教育活動	⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施さ
	れているか。
	⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。
	⑦育成目標に向け授業を行う事ができる要件を整えた教員を確保して
	いるか。
	⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。
	⑨資格取得の指導体制はあるか。
	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら
	れているか。
(4)学修成果	②資格取得率の向上が図られているか。
	③退学率の低減が図られているか。
	④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
	①就職に対する体制は整備されているか。
	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。
	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。
(5) 学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者等と適切に連携しているか。
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者等と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者等と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されて
	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者等と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。
(5)学生支援 (6)教育環境	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者等と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制
	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者等と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。
	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者等と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者等と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。 ①学生募集活動は、適正に行われているか。
(6)教育環境	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者等と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。 ①学生募集活動は、適正に行われているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。
	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者等と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。 ①学生募集活動は、適正に行われているか。

(8)財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行われているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	①国際交流に取り組んでいるか。

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

以下2点の提言を貰い改善を図っていく。

①卒業生の社会的評価

社会人基礎力・コミュニケーション能力の養成も必要だが、資格取得がなければ業務に就くことが出来ない。資格取得を主 とした指導の中で、育成する方が良い。

②保護者等の連携

URL:

理解が得られない等の事案を少なからずあり、粘り強く対応することも重要だが、学校としてマニュアルを整備して対応可能 <u>節囲を明確にすることで職員の負担を少しでも軽減することが必要である</u>
(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
成本 達哉		令和6年8月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委 員
守屋 禎	岡山西大寺病院 人事課 課長	令和6年8月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委 員
中村 博明	長	令和6年8月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委 員
岡 了	株式会社 トスコ 総務部 副部長	令和6年8月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委 員
和泉 裕子	株式会社ENGI プロデューサー	令和6年8月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委 員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: <u>2025年10月6日</u>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係

))

- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。 そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。 ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図る事を目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	大 / O/2 IT J T J O/A I C O/A I/O
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①学校の概要、②目標·方針·特色、③所在地·連絡先、④学校の沿 革
(2)各学科等の教育	①カリキュラム・時間割・目指す資格、②検定・資格取得・検定試験合格
(3)教職員	各学科の担当教員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	各学科の実習紹介
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事、②クラブ活動
(6)学生の生活支援	学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声)
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金、②奨学金・学費免除等の紹介
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	留学生の募集
(11)その他	
ツ(10) 及び(11)については任意司載	_

|※(10)及び(11)については任意記載。

)) 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/ 2025年10月6日

(3)情報提供方法 ホームページ URL: 公表時期:

授業科目等の概要

#REF!																
	•	分類	į						授	業を	方法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学	業時	単位数	講義	演習	実験・実習・		校外			企業等との連携
						期	数				実 技					携
1	0			一般教養 I	ビジネス全般において常用される漢字、語 句及び熟語等に関して学ぶ	1 前 期	30	1		0		0		0		
2	0				ビジネス電話対応や接客、接遇に関する ルールを学習する	2 通 年	60	2	Δ	0		0		0		
3			0	ビジネス教養 I	企業内で多岐にわたり使用される電卓のス ピード、正確性を高める実技演習を行う	1 通 年	30	1	Δ	0		0		0		
4			0	キャリアデザ イン I	面接試験において求められるビジネスマ ナーの基礎を学ぶ	1 通 年	30	1	Δ	0		0		0		
5	0			IT基礎知識 I	IT基礎知識(テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野)について学ぶ	1 前 期	90	3	0	Δ		0		0		
6	0			IT基礎知識Ⅱ	IT基礎知識(テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野)について学ぶ	1 前 期	90	6	Δ	0		0		0		
7	0				HTMLとCSSを使ったホームページの作成につ いて学ぶ	1 前 期	30	1	Δ		0	0		0		
8	0			Python I	Pythonの基本構文とプログラムの実装につ いて学ぶ	1 前 期	90	3	Δ		0	0		0		
9	0			Python II	Pythonによるオブジェクト指向プログラミ ングを通してクラスの概念について学ぶ	1 通 年	60	2	Δ		0	0		0		
10	0			Java	Javaの基本構文とオブジェクト指向プログ ラミングについて学ぶ	1 後 期	90	3	Δ		0	0		0		
11	0			データベース I	リレーショナルデータベースの概要を学ぶ	1 通 年	30	1	Δ		0	0		0		
12	0				Djangoを使用したサーバサイドアプリケー ションの仕組みについて学ぶ	1 後 期	120	4	Δ		0	0		0		

					1	1 1					1		 _
13	0		クラウド技術 I	クラウドの概要とAWSを利用したクラウドコ ンピューティングの実装方法について学ぶ	1 後 期	60	2	Δ		0	0	0	
14	0		ITキャリアデ ザイン I	就職活動に関する基礎知識について学ぶ	1 前 期	30	1	0	Δ		0	0	
15	0			ユースケース駆動設計によるオブジェクト 指向分析設計について学ぶ	2 通 年	90	თ	◁		0	0	0	
16	0		卒業制作I	システム開発における企画立案、ユース ケース図及びロバストネス図の作成につい て学ぶ		90	3			0	0	0	
17	0		卒業制作Ⅱ	システム開発におけるシーケンス図とクラス図及びテーブル設計書や画面レイアウト について学ぶ	2 後期	90	3			0	0	0	
18	0		卒業制作Ⅲ	システム開発におけるテスト仕様書の作成 及び実装について学ぶ	2 後期	120	4			0	0	0	0
19	0		Javaシステム 開発	Javaフレームワークを利用したシステム開 発演習	2 前 期	120	4	4		0	0	0	
20	0			AWSのAIサービスを利用したプログラムの実 装方法について学ぶ	2 前 期	60	2	Δ		0	0	0	
21	0		先端クラウド システム開発 I	AIを活用したシステムに関して学ぶ	2 前 期	90	3	Δ		0	0	0	
22		0	ITキャリアデ ザインⅡ	システムエンジニアとしての心構えや職業 観について学び、就職活動における適性試 験や面接試験の対策	1 後期	30	1	Δ	0		0	0	0
23		0	コンピュータ リテラシー	Officeソフト(Word・Excel・PowerPoint) の操作方法について学ぶ	1 前 期	30	1	\triangleleft		0	0	0	
24		0		JavaサーブレットとJSPを使用するサーバサ イドプログラミングについて学ぶ	1 後期	90	3	\triangleleft		0	0	0	
25		0	データベース II	SQLの基本文法とリレーショナルデータベー スの設計と実装について学ぶ	1 後期	60	2	Δ		0	0	0	
26		0	資格取得講座 A	基本情報技術者試験 科目B試験に合格する ための学習をおこなう	1 通 年	60	2	Δ	0		0	0	
27		0	資格取得講座 B	AWS Certified Cloud Practitioner に合格 するための学習をおこなう	1 通 年	60	2	Δ	0		0	0	

28			0	ITキャリアデ ザインⅢ	就職活動における適性試験や面接試験の対 策	. 2 前 期	60	4	Δ	0		0		0		
29			0	ITキャリアデ ザインⅣ	社会人に必要なビジネスマナーについて学 ぶ	2 通年	30	2	Δ	0		0		0		
30			0	JavaScript	JavaScriptを学び、動的なWebページを作成する	2 前期	60	2	Δ		0	0		0		
31			0	資格取得講座 C	LinuCレベル 1 (101試験、102試験)に合格 するための学習をおこなう	2 通 年	60	2	Δ	0		0		0		
32			0	資格取得講座 D	オラクル認定 Java Silver に合格するため の学習をおこなう	2 通年	60	2	Δ	0		0		0		
33			0	資格取得講座 E	シスコ技術者認定試験CCNA に合格するため の学習をおこなう	2 通 年	60	2	Δ	0		0		0		
	合計				33	科	·目				2, 160	単位	立 (.	単位	時間	1)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	É
卒業要件:	以下に定める授業時間の履修及び所定の授業科目の成績評価に基づき 卒業審査により行い、認定者には校長が卒業証書を授与する。 1,700時間	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	授業は、講義・演習・実習もしくは実技のいずれかより又はこれらの併用で行うものとする。 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とする。 授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準により GP (Grade-Point) を与える。 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀・優・良・可を取得した学生には所定の単位を与える。	1 学期の授業期間	20 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。